



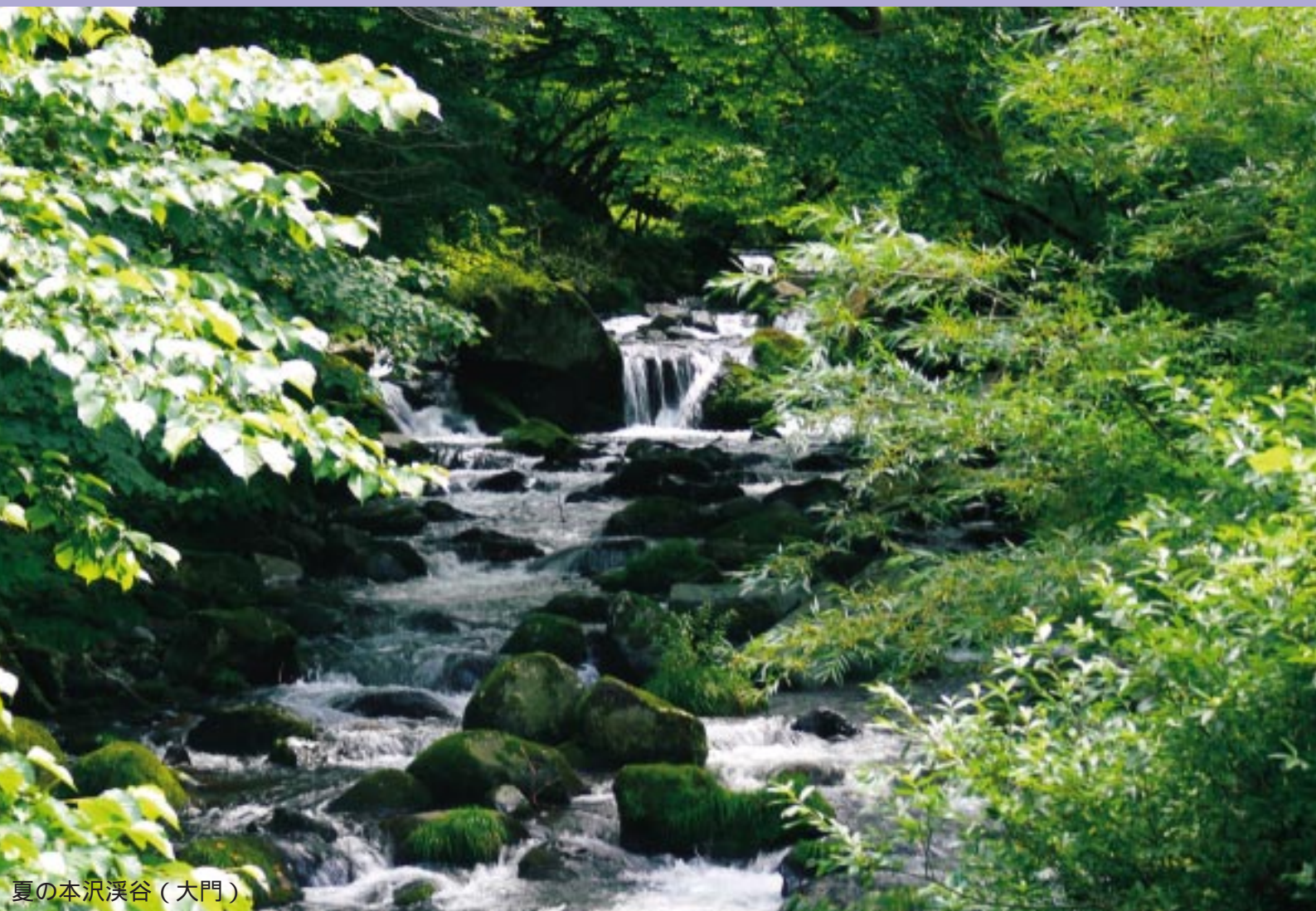
ながわまち

平成22年8月1日発行

第19号

議会だより

発行 長野県小県郡長和町議会
編集 議会だより編集委員会



夏の本沢溪谷（大門）

第19号の内容

6月定例会

町長提案理由----- P2

6月定例会審議結果----- P3

一般質問----- P4

委員会活動報告----- P6

皆さんへのメッセージ----- P12

平成22年6月定例会開催される

町長提案理由の説明

長和町議会6月定例会が6月4日(火)から17日(火)までの14日間の会期で開かれ、初日は羽田町長の招集挨拶、条例改正案、補正予算案などについて審議が行われました。



私の2期目の最初の年度がスタートしまして早2ヶ月が経過しております。

そんな中で、平成21年度の総括をしながら、長和町が未来永劫存続していくために、まとめた公約を、今後4年間で確実に実行していきたいと考え、その初年度として行政運営を進めているところですが、現在のところ順調に執行がされていると思っております。

今まで、循環型農業の推進や特産品開発等新しい農政に対応できる体制づくり、そして、道路、上下水道などの住環境整備、更には、子育て支援の更なる充実を目指し、子ども手当、不妊治療補助、妊婦・乳児一般健診、18歳までの福祉医療給付の継続、園児の健やかな成長のため加配及び支援保育士等の雇用の拡充、保育料の負担軽減化等々、教

育への支援体制の強化等々を他自治体に先駆けて進め、常に時代の流れに敏感に対応しながら、新しい時代を先取りしてまいりました。

しかし、行財政の運営にあたり、予算を許さない状況にあり、なお一層の経費節減が求められるところで、引き続きムダを省き、最少の経費で最大の効果を挙げることの原則に基づき、努力していきます。

そして、今、私たちにとつて必要なことは、地方分権の進展、財政状況など長和町を取り巻く状況が大きく変化する中、町の歴史、先人の知恵に学び、時代の流れに取り残されることなく、しっかりとした町の将来を描くことであると考えています。

そんな志の中で、平成22年度予算を策定し、議決をいただいておりますが、今

後の進め方については、3月の定例議会に於いて申し上げたとおり、私の公約である『輝く長和町の生活圏の基礎づくり』を基本方針として、「人口増加対策」、「子育て支援」、「経済危機対策」に力点を置いた予算執行をしていきます。

「人口増加対策」の一つとしては、町営住宅の建設促進ということ、先日、建設業者をプロポーザル方式で決定しましたので、後は、議会議決後、実施設計書の完成を待ち、事業着手する段取りとなっております。また、4月から定住促進家賃補助の制度を立ち上げ、家賃の上限を3万5000円に設定し、それ以上支払っている方に対して差額分を補助し、少しでも多くの方々に長和町に継続して住んでいただけるよう対策を講じています。

「子育て支援策」としましては、「子どもを育てるなら長和町で」をモットーに更なる充実を目指し、「住んで

よかったなあ」と実感できる子育てを日本一のまち、高福祉・高医療のまちに一步ずつ近づけていきたいと考えています。

「緊急経済対策」では、長引く景気低迷打開策として、町独自に臨時職員を雇用する緊急就労支援事業、県の緊急雇用創出事業やふるさと雇用創生特別事業を取り込み予算化をし、町内事業者へ経営の安定化を促進するための融資あつせん等や農業者への助成を増強しました。又、依然として雇用情勢は厳しい状況が続いており、昨年に引き続き美しい郷サポート係として7名の方々に緊急雇用対策として雇用し事業の推進を図っています。

問題は山積しておりますので、公正で中立、町民目線、現場主義を基本に、全職員が一丸となって、全身全霊をかけて町政運営に当たる覚悟でございます。

(町長の提案理由説明より抜粋)

6月定例会で審議された議案などの審議結果

報告案（5件）

- ・例月出納検査結果報告
- ・平成21年度長和町土地開発公社事業会計決算について
- ・平成21年度長和町一般会計繰越明許費について
- ・平成21年度長和町水道特別会計繰越明許費について
- ・社会文教常任委員会調査報告について

専決処分の承認（9件）

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| ・長和町税条例の一部を改正する条例 | 全員賛成・承認 |
| ・長和町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 全員賛成・承認 |
| ・平成21年度長和町一般会計補正予算（第9号） | 全員賛成・承認 |
| ・平成21年度長和町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号） | 全員賛成・承認 |
| ・平成21年度長和町国民健康保険歯科診療所特別会計補正予算（第3号） | 全員賛成・承認 |
| ・平成21年度長和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） | 全員賛成・承認 |
| ・平成21年度長和町介護保険特別会計補正予算（第4号） | 全員賛成・承認 |
| ・平成21年度長和町水道特別会計補正予算（第5号） | 全員賛成・承認 |
| ・平成22年度長和町一般会計補正予算（第1号） | 全員賛成・承認 |

条例案（2件）

- | | |
|-----------------------------------------|-----------|
| ・長和町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 全員賛成・原案可決 |
| ・長和町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 全員賛成・原案可決 |

補正予算案（1件）

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ・平成22年度長和町一般会計補正予算（第2号） | 全員賛成・原案可決 |
|-------------------------|-----------|

契約案（1件）

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| ・平成22年度長和町町営マンション建設工事請負契約の締結について | 全員賛成・原案可決 |
|----------------------------------|-----------|

指定管理者の指定案（2件）

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ・指定管理者の指定について（長和町乳菓子加工施設） | 全員賛成・原案可決 |
| ・指定管理者の指定について（長和町ダットンそば加工直販施設） | 全員賛成・原案可決 |

人事案（1件）

- | | |
|-----------------------------|---------|
| ・教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて | 全員賛成・同意 |
|-----------------------------|---------|

陳情（1件）

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ・長野県地方税共同化に関し県に意見書を提出することを求める陳情 | 賛成少数・不採択 |
|---------------------------------|----------|

一般質問



6月8日(火)に一般質問が行われ、5人の議員が質問を行いました。
質問事項は下の表のとおりですが、ここでは、その一部をお知らせします。

発言順	氏名	質問項目
1	古川 直孝	1. がん対策について 2. 高齢者共同住宅について 3. 町有地の未登記について
2	河野 啓治	1. 獣害対策について 2. 「地域主権改革」一括法案について 3. 「上小地域医療再生計画に基づく研究・教育に関する協定」について
3	原田 恵召	1. ジャスコ武石店の撤退について 2. ふるさとセンターの和紙づくり中止について 3. 国保保険証のカード式について 4. 滞納整理について
4	宮下 翼	1. 「少子化対策基本計画」について (1) 同計画策定の趣旨、目的 (2) 同計画の概要 (3) 結婚支援事業の充実について (4) 民間住宅「空き家」の利用について
5	栗原 暁史	1. 地域経済の振興について 2. 和紙の里について 3. 丸子警察署統合の影響と今後の課題について



古川 直孝議員

問 長和町でも女性のためのがん検診手帳とがん検診無料クーポン券が対象者に配布されたと思いません。配布状況や検診率などの現状と課題は何か。

答 羽田町長

クーポン券の対象者には、6月1日に配布をした。
受診率は子宮頸がん・乳がん検診ともに、平成20年度に比べると、21年度は上昇しており、クーポン券は受診率の向上に大変貢献している。ただ、上小地域は産科医が不足しており、今後受診者が増えること、医療機関で受け入れてもらえるか、受け皿の問題が出てくる。

問 来年度以降もこの事業を継

続していくのか。

答 羽田町長

子宮頸がん・乳がん検診とともに来年度以降も無料クーポン券の発行を実施したい。

問 子宮頸がんは予防ワクチンを接種することで予防ができ、ワクチンは10歳から接種が可能で、20代、30代の女性に子宮頸がんが多いことから、10代での接種が推奨され、一般医療機関で接種することができ

る。しかし、費用が4万円から5万円掛かり公費の助成が必要だと考える。中学1年生の女子を対象に、費用を全額助成できないか。

答 羽田町長

ワクチンは3回の接種が推奨されており、5万円程度の費用が掛かる。接種による予防効果があるのに、高額により接種率が上がらないのではと懸念される。



対象者に配布されたがん検診手帳と無料クーポン券

感染リスクが高まる前の中学生の女子を対象に、来年度から全額補助を検討する。

問 現在の長和町のひとり暮らし等の高齢者数の状況は。

答 羽田町長

平成22年6月1日現在、65歳以上の、高齢者は2345人で、高齢化率が33・06%である。そのうちひとり暮らしの世帯は422世帯。これは住民票上の数字であり実際はもう少し少ない、300人近い方がひとり暮らしである。また高齢者のみで世帯が430世帯、872人となっている。

問 高齢者が安心・安全に自分の地域で生活するために必要な福祉サービスの充実を図る上で、特に冬期間だけでも対応できる施策を考えてほしい。例えば見守り対応する体制づくりや、高齢者住宅の充実整備などの、町の考えは。

答 羽田町長

日ごろから地域で気軽に声をかけ合う関係づくりや安否確認ができるような気配りをお願いしていきたい。

いと思つ。

例えばデイサービスセンター大門や、デイサービスセンター和田を最大限有効に活用したいと考えている。また介護認定されていないが高齢者だけで生活するのは心配という方には、生活支援ハウスほほえみのような見守りの中で、安心して生活できるような施設の拡充等をあわせて今後検討したい。

問 町有地の中に林道が開通し40年以上が経過しているのに、移転登記が終了していない町有地の未登記がかなりあると聞いている。町有地の未登記がどれだけあり、その解消に向けた取り組み。またいつをめどに未登記物件の解消を進めていくのか。

答 羽田町長

公共事業で町が住民の所有地を購入し、町有地として法務局に所有権の移転登記をすることになっている。しかし、その事務が一部できていないものが約3000件ある。現在、和田地域で継続実施中の国土調査事業が今年度で終了するので、平成23年度より専任職員を配置し、解消に向け取り組みをしていく。



河野 啓治議員

問 鳥獣には市町村と県の境がない。本来であれば国が全面的に鳥獣対策を行うべきで、苦勞して鳥獣害の被害から守っている農家の皆さんと地方の自治体の要望にこたえ、予算が増額されるべきときに、逆に減らすとはもってのほかだ。過疎債や特別交付税の措置などして、予定どおり事業を進めてほしいがいかがか。

答 羽田町長

有害鳥獣対策については、20年、21年度の臨時交付金で、柵の設置と並行して、猟友会、わなの会に捕獲をお願いし、個体を減らしているところ、多分他の町村よりも相当進んでいると思っているが、実態を国

特に民主党国会議員に、現状をよく認識してもらつことが大切だと思つている。

問 保育所や児童福祉施設の最低基準をなくし、都道府県の条例に委任する「地域主権改革」一括法案は、福祉や教育における国民に対して保障する国の責任を放棄するもので、福祉施設の最低基準を引き下げると、重大な内容がある、このような法案はつくるべきではないと思ひますが、町長はどのように評価をしますか。

答 羽田町長

地域で決めて、地域で進めることは、私は非常に評価できると思っている。細部についていろいろ、問題はあつたと思つた、この地域主権改革というものは、進めた方がよいと思つた。



獣害対策の防護さく

問 将来的に保育所の建て替えや統合問題が当然出て来ると思つた。法案が成立しても、現在の居住面積基準を引き下げないなどの措置、また現行の基準を満たした園にしてもらいたい。

答 羽田町長

保育園を建てるとき、国の決めた基準で合わなければ補助金は出さないやり方が、おかしいと思つているので、長和町にあつた保育園造りを考えていきたい。

問 「上小地域医療再生計画に基づく研究・教育に関する協定」とはどのようなものか。

答 羽田町長

上小医療地域再生計画はですね、医学、医療に関する研究及び教育の取り組みに関して、上小地域の地域医療を充実させることを目的に、協定が締結をした。

問 町や依田窪病院の現在の医師不足、特に産科問題や医師の確保のこつという問題について、この協定の進行の中で、どのようなメリットがあるか。

答 羽田町長

上小地域医療再生計画の骨格は、長野病院の機能回復と強化であり、長野病院の医師確保を柱として、緊急医療、周産期医療及びがん検診体制の機能回復を図ることを目的としており、長野病院がしっかり医師確保ができて、医師が充実された病院になれば、依田窪病院とかへの医師の派遣も視野に入れることができ、その恩恵があり、また、産院を長野病院の隣接地に移転をし、長野病院の小児科及び麻酔科等と密接な連携の元、安全性を高めた周産期医療の提供を試みており、地域周産期女子医療センター機能を回復して、高度な周産期医療を担うとしている。

この上小地域の産科が充実すれば、長和町のお産をする方にとつてもよいことになる。がん検診についても、長野病院はがん診療連携拠点病院の認定を目指し、他の医療圏と同程度の診療、手術療法とか、放射線療法、化学療法を行える体制を構築するものと言われており、これらが構築されれば、身近な地域で高度な医療が受けられる。



原田 恵石議員

問 8月20日をもって、武石シヨッピングセンターピコの中にあるジャスコ武石店の、撤退に至る経過はどうなのか、そして、現在どういう状況なのか。さらに今後の見通しはどうなのか伺いたい。

答 羽田町長

武石の商工会事務局からその旨の話があり、イオンサイドからはお話しは一切ない。20年の満期ということ、8月20日に閉店だそうだ。

株式会社武石シヨッピングセンターもジャスコの後継利用について、利用者探しをしている。仮に後継利用する事業者がなくても、継続を考えているようだ、この考えも流動的であると言われている。行政とし

てどう対応ができるのか考えていきたい。

問 ふるさとセンターで和紙づくりをやめているということですが、その原因は何なのか伺いたい。

答 羽田町長

ふるさとセンターの和紙づくりをやめるとか中止することは考えていない。振興公社に指定管理契約をして運営をしていただいているが、振興公社も、和紙づくりを全てやめてしまうことは考えていない。

問 指定管理の契約の中に、和紙づくりの伝承、保存に努めるときちんとうたつてあるのか。

答 辰野産業振興課長

長和町ふるさとセンターの指定管理の基本協定書というのがあり、大きな変更や、いろいろな問題が発生した場合は、対等の立場に立って協議をしながら進めていくという契約になっている状況です。

はつきりと和紙の伝統を継承していくことについては、書いてありません。

問 今後の方針は、紙すきを続けるということ、補正予算で150万円の委託料を新たに載せているが、どういった内容なのか伺いたい。

答 辰野産業振興課長

この紙すきの伝統を守っていく、後継者の育成も必要になっており、その後継者分の給料の半額を町が負担するということをお願いしたい。

問 国民健康保険証がカード式になるそうだが、10月からなるのか。

答 羽田町民福祉課長

10月1日から有効となる保険証から1人1枚のカードサイズに変更する。サイズはクレジットカードや自動車の免許証と同じで、役場の窓口で作成をするため、既存のプリンターで印字ができる紙素材のものである。

問 文字の大きさは町独自で大きくできるのか。

答 羽田町民福祉課長

一番必要となる記号番号と氏名、性別は、必要最大限に印字は大きくしたいと考えている。

問 滞納があった場合には、催告、督促ということが行われているが、法令に沿ってきちんに行われているのか。

答 羽田町長

長和町の滞納金額も年々増加傾向をたどっている。また、町税の減収が見込まれている中、この滞納も町の財政の大きな課題の1つとなっている状況である。

未納者には、督促状を送付、そして納入催告書を、催促書を年3回ほど送付しており、自宅や勤務先へ徴収訪問と電話催促を積極的に行っている。また、専門の徴収員による町内の訪問徴収を実施し、2名から3名の職員で、県外滞納整理も積極的に実施している。



10月1日よりカードサイズに変更される国民健康保険証(写真右)



宮下翼 議員

問 町が今後行う「少子高齢化対策基本計画事業」の目的を伺いたい。

答 羽田町長

少子化対策に関する考え方や姿勢を包括的に盛り込み、今後の施策の基盤と成る計画を策定し、安心して子供を産み育てられる基本的な方向、方針により、具体的な子育て支援メニューが他市町村と比べすぐれている施策の全体像等を明らかにし、子育て日本一の町を目指したいと考えております。

問 調査研究の内容について、どんな体制でやるか。成果の発表時期はいつごろか伺いたい。

答 羽田町長

企画財政課が事務局となり、福祉係、社会教育係、健康づくり係、商工観光係等の係長級7名程度で施策の研究検討をしていきたいと考えており、月に一度くらいのペースで開催をし、9月ごろ基本部分を作成し、課長会議で検討を加え、年末までには計画書を策定したいと考えている。

問 少子化対策としての結婚支援の必要性、重要性については、改めて述べるまでもないと思えます。

しかしながら、結婚相談などの活動がなかなか成果を上げにくい現状は、長和町に限らず多くの自治体が抱える問題と思われる、やり方を見直す時期ではないかと思えます。

これに関する提案だが、1、プライベートへの配慮として、相談場所は町外に置く。2、出会いの機会づくりの強化策として、婚活イベントの企画工夫。3、支援委員会が組織として対応する等を挙げたい。町の考えは。

答 羽田町民福祉課長

現在の町の結婚支援は、社会福祉

協議会が中心となり、関係市町村と協働体制を取りながら、結婚相談事業を実施している。

内容については、21年度は3名の結婚推進相談員により毎月1回、第4月曜日、午後の時間帯で相談員の活動等の打ち合わせ等実施をしている。また、東御市と青木村との結婚相談員の連絡会を毎月開催し、情報交換などを行っており、連絡会主催で出会いのイベントを開催したが、残念ながら、カップル誕生には至らなかった。22年度の計画としては、結婚相談日は21年度と同様に開催をするべく検討をしている。

新しい取り組みとして、立科町結婚相談員との交流会を開催し、お互いの町の情報交換と、今後の協働体制を築いていくことが必要だと感じている。

町として、結婚支援にどういったお手伝いができるかと考えますと、やはり結婚を希望する方向士の出会いの場所や機会をつくることが一番だと思っている。

現在、社会福祉協議会が実施しているイベント事業や、関係市町村との情報交換等の事業に対し、積極的に協働体制を構築し、町として結婚支援について、支援をしていきたい

と考えている。

問 民間住宅等空き家の利用は、転入者等の受け皿を広げる意味で、少子化、人口問題対策として重要であり、定住促進に結びつけていくことができると思います。また空き家の利用は地域の活性化につながる意味も評価すべきである。町の考えを伺いたい。

答 羽田町長

民間住宅の空き家の利用については、これから大切な施策の1つであると考えている。現在、その調査を管財係で始めたところで、調査結果を踏まえて、いろんな施策が考えられると思いますので、これらを計画に盛り込みたいというふうに考えております。それには、今、宮下議員からさまざまな御提言をいただきましたが、そこら辺のことは参考として、検討をさせていただきたいというふうに思っております。



遺跡調査中の町営マンション建設予定地(立岩六反田地籍)



栗原 暁史議員

問 ショッピングセンターピコの中のジャスコの撤退(ちたい)に関して、今後の見通しと町長としての感想、長和町への影響について、伺う。

答 羽田町長

長和町民で、ジャスコに18名勤めておられ、雇用の面で長和町へも影響がある。イオンとぜひ一度は話したい。買い物という点では、高齢者の皆さんに影響がある。買い物弱者に、どういった施策をしていくか、振興公社や社会福祉協議会と連携をとりながら、模索している。

問 和紙の里、ふるさとセンターについて何のためにあるのかという基本的な方向性について、町が責任を持って示すべき責任があると認識

をしているか。

答 羽田町長

当然この和紙保存に対する町の基本的な考えというものは、しっかり出していかねばならないと思っている。

問

きょう改めて確認したが、和紙の里は、和紙の製造販売を中止している。公社には、4点聞いていただきたい。1、中止しているという事実関係。2、経過を経営陣だけでなく現場にも直接聞いていただきたい。3、原状回復をして、「売っている」「つくっている」状態に戻す。4、断ったお客さんに、再開するということを、謝りも含めて連絡する。

答

羽田町長

私はその中止していることを確認していないので、この議会が終わりたい確認する。もしそうなら、振興公社にお話させていただく。町としては、「町の伝統文化」であることから、製造は継続することを、振興公社とも確認をしている。4点については、は分かった。

問

ふるさとセンターの方向性について提案する。うちわづくり体験も和紙作りあってこそであり、「和紙づくりをしつかりやること」、町の特産品開発係と連携して、「売り出す工夫をする」こと、体験で使う材料について、原料のコウゾを山間などの荒廃地へ植えて、「地元産のコウゾを使う」こと、といったことを検討していただきたい。

答

羽田町長

和紙づくりは、和紙保存会の皆さんや立岩区の皆さんが和紙にどういう思いでいるのかも踏まえながら、考えていかなければならないと思っている。また、和紙だけでは採算が取れないという側面もあり、他で利益を上げながら、和紙を守っていくのも1つの方法だと思う。振興公社はスキー場、温泉などの、さまざまな事業をしているので、人員の回しなどもできる。ご提案も踏まえて、和紙をどう守っていくかということ、町としての考えを伝えながら、公社にお願ひしていけば良いかなと思っている。

問

丸子警察署の統合の問題点や課題は県警に積極的に提起していくべきだ。現時点での状況をどのよ

うに認識しているか。

答

羽田町長

統合にあたって、県警には、駐在所をなくさない、免許証の書きかえを継続して丸子でもできるようにする、人員の縮小をしないという3つの事をお願いした。駐在さん、安協役員さんといった現場の方に聞いても、苦情、意見はなかった。現在、警察統合について、影響が出ているということは認識をしていない。

免許証については、警察署で調査したアンケート結果を近々公表したいという話があった。



立岩和紙で作られた障子紙

総務経済常任委員会活動報告

総務経済常任委員会の町内現地調査が平成22年5月18日（火）に、平成21年度繰越工事関係の竣工状況並びに平成22年度町重点施策箇所の現地調査が行われました。

調査箇所及び結果報告は次のとおりです。

平成21年度長久保青原線道路改良工事

一部舗装工事が残されているが、特に指摘事項もなく工事が完了される状況である。活用については、大型車の通行は不可となりますが地域が一体感のもてる生活連絡道路として活用いただきたい。

平成21年度堆肥貯蔵庫建設工事

利用者への供給については、二週間に一度、農政係が立会い供給している。積み込みは自ら行い、限度100キログラムまでとし、料金は20キログラム当たり100円と設定さ

れている。キロ100円については、牧場からの堆肥搬運賃であり、堆肥は無料となっている。

現状の堆肥施設については、外壁の雨除け、入口の舗装、下屋が必要との指摘があり、今後様子を見ながら対応する。

平成22年度町営住宅建設工事
予定地（立岩六反田地籍）

遺跡調査実施後、人口増加対策の一つとして、3階建て12戸入る町営マンションの建設工事に移行される。

平成21年度乳製品菓子加工施設建設工事

施設建設が終了され、牛乳、ヨーグルト、シエイク等の新製品の開発に取り組んでおり、今後に期待したい。

姫木コミュニティセンター
建設工事

基礎工事を実施中、一部支持力に問題があることから、ラップル工法にて対応することにした。繰越事業であるため、増工が認められないため、別途基礎工事として、6月専決予算で対応することとなる。指摘事項として町外業者への下請けについては、町内業者優先で実施すべき

である。

平成21年度ダツタンそば加工施設建設工事

この施設により、ダツタンそばの付加価値による販売促進、生産拡大による地域力の強化と遊休荒廃農地の解消に期待される。

他平成21年度汁垂農道舗装工事の現地調査を行う。



建築中の姫木コミュニティセンター



ダツタンそば加工施設（入大門）

社会文教常任委員会活動報告

平成22年4月22日（木）に社会文教常任委員会が町内福祉施設の視察・懇談が行われました。



デイサービスセンター和田

依田窪福祉会では、村岡常務理事に対応していただき、特養「ともしび」で紹介DVDを見たあと、意見交換が行われ、大門デイサービスセンターの小規模多機能施設への発展の方向性などが話し合われました。また、入所者の高齢化が進んでいること、ジャスコ閉店に伴う施設運営の問題、他地区からの参入と経営の問題などが話し合われました。その後、大門と和田のデイサービスセンター（高齢者生活福祉センター）ほほえみを含む）を視察し、説明を受けました。

老人保健施設「いこい」では、石橋施設長、岡村事務局長に対応し

ていただき、「いこい」の基本運営方針「老いの尊厳を支えるケア」についてのお話し、増床後も稼働率は高く、経営も安定していることなどの説明がありました。その中で、看護師不足が病院以上に大変な状況があることを共通認識として持ちました。

山の子学園については、（社）縦の木福祉会理事の井本山の子学園施設長に長久保の老人福祉センターで対応していただきました。議会常任委員会として地元の障がい者施設との話し合いの場を持ったことを高く評価していただき、これまでの施設の経過と今後できうる限り地域へ向け込んだ形でのケアをすすめていくという方向性の話がありました。説明後、通所施設である「ぶらっと」（長久保）、「和いわい」（和田）の視察を行いました。

それぞれ、意見交換をし、今後の議会活動の糧となるものだったと思います。



（社）縦の木福祉会
障がい者通所施設「ぶらっと」



デイサービスセンター大門（宮ノ上）



大門（落合）の故武井白翁^{たけいはくお}旧長門町議会副議長が旭日単光章を受賞され、長男の武井俊英^{たけいとしひで}さんに6月4日（金）に和庁舎議場において、羽田町長から伝達されました。長年、地方自治にご尽力されたことに対する受賞です。

傍聴席から

6月定例議会を傍聴された方に、傍聴した感想を書いていたいただきました。

意外と円滑に答えが返ってくるんだなあと思った。
もう一步突っ込んだ質問があっても良いのでは。
質問より多くの答えが返ってくると、次の質問が簡略化されているような気がした。



これらの意見を参考にさせていただき、より良い議会にしていきたいと思います。
次の議会は平成22年9月定例会になります。
会議中いつでも傍聴することができますので、ぜひ、和庁舎議場までお出かけください。
なお、傍聴できる人数は、30人で先着順となっています。
町民の皆さんに選ばれた議員の議論をぜひ傍聴してください。

平成22年8月1日発行

町の皆さんへのメッセージ

各議員さんに、日頃思っていることや住民の皆さんへのメッセージを書いていただきます。今回は宮下翼議員です。

屋久島みやげ話
7月初旬に屋久島に行ってきました。

屋久島が世界遺産に選ばれた理由の一つは天然杉の優れた生育地であること。標高500メートルあたりから、照葉樹林に混じって巨大な屋久杉が立つ森です。我々の目的の地「縄文杉」までに「翁杉」「大王杉」など多くの屋久杉に会いました。屋久杉が占める空間の大きさと荘厳さに圧倒され続けました。屋久杉もスギ、長和町の杉もスギで1種のはずです。植物の不思議というか生命の神秘とでもいう他ありません。ところで、屋久杉ツア一の観光客は若い女性の多さに驚きました。なぜ若い女性がここに？この理由はその日のうちに分かりました。縄文杉のずっと手前に「ウイilson株」があり彼らの目当てはここ。江戸時代に伐採された巨大古株で、中は空洞で8畳位の広さがあり、見上げる空がハート型で、それをカメラに収めることが人気とか。屋久島の自然は一流の観光資源ですが、こうしたキメの細かいソフトをちゃんと用意して新市場を開拓したアイデアに、再度脱帽の旅でした。

ながわまち議会だより
編集委員会

委員長 伊藤 博一
委員 田村 孝浩
宮下 翼
竹内 英和
原田 恵沼